

琵琶湖森林づくり基本計画(第2期) 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅰ：基本施策				R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	令和7年度進捗状況	R7年度 達成率評価	R12 (長期目標)	達成率	R12に向け ての見通し	方針ごとの達成評価
1 多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり																					
1-1 持続可能な森林整備の推進	111 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	-	目標値	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	施策同意の得やすい所有者や集落近くの森林など、施策を効率的に行える森林の整備が進み、奥地等の効率の低い現場割合が増えているため、目標を達成できなかった。 今後は、より一層、県、市、森林組合等が連携し、集落会議等を通じて除間伐の必要性を説明し森林整備を進める。 ○間伐等の森林整備実施面積1,352ha（目標2,600ha）	C	90%	58%		○奥地等の効率の低い現場の割合が増えているため、目標が達成できなかったが、奥地での針広混交林化や獣害対策となる緩衝帯整備など、多様な森林整備に取り組んだ。 ○また森林の境界明確化の基礎資料となる合成公園の作成等にも取り組み、より多くの森林整備に繋がる資料を整備することができた。
		54%	実績値	69%	67%	64%	59%	52%													
		-	達成率	77%	74%	71%	66%	58%													
	112 民有林の森林経営計画カバー率	-	目標値	10%	11%	11%	12%	12%	13%	13%	14%	14%	15%	新規樹立計画はあるものの、森林整備を行った後、更新しない計画も見られることから、カバー率としては伸び悩んでいる（経営計画作成面積 16,201ha、森林面積 183,984ha）	B	15%	60%				
		9%	実績値	10%	10%	9%	9%	9%													
		-	達成率	100%	91%	82%	75%	75%													
		-	目標値	14,333ha	17,407ha	20,481ha	23,555ha	26,629ha	29,703ha	32,777ha	35,851ha	38,925ha	42,000ha	令和7年度に2,512haの合成公園作成を実施できており、主要な箇所については合成公園を作成できた状況となっている。今後も引き続き優先度の高い箇所を中心に年間2,000ha程度の合成公園作成を順次進めていく。 ※進捗率 (37,302-11,259)/(42,000-11,259)=85%	A	42,000ha (累計目標)	85%		【今後の方向性】 ○引き続き、森林経営管理制度や境界明確化の推進・集落会議等により、除間伐等の森林整備を確保しつつ、林業適地の適切な把握と主伐・再造林の促進に努める。		
	11,259ha	実績値	30,986ha	32,668ha	33,956ha	34,790ha	37,302ha														
1-2 生物多様性の保全	121 下層植生衰退度3以上の森林の割合 ※衰退度3は半数以上の森林で高木の後継樹が消失、傾斜地では約10%の森林で強度の土壌浸食が発生する衰退度 ※現状値:平成29年度	H29	目標値	-	10%	-	-	-	-	-	10%	-	-	-	-	(5年ごとに実施)	-	10%	67%	-	
		19%	実績値	-	15%	-	-	-													
		-	達成率	-	67%	-	-	-													
2 多様な主体との協働により進める森林・林業・農山村づくり																					
2-1 多様な主体による森林づくりの推進	211 森林づくりに関する講座等への参加者数(累計) ※森林づくりに関心を持ち、積極的に関わる人材を養成するために、県や市町等が実施する講座や研修会等への参加者数	-	目標値	200人	330人	470人	600人	730人	860人	990人	1,120人	1,250人	1,400人	森林づくりに関心を持ち、積極的に関わる人材を養成するため、一般県民や森林所有者等を対象とした各種講座を開催したところ、想定以上の参加が得られた。 ※進捗率 (1,292-66)/(1,400-66)=92%	A	1,400人 (累計目標)	92%		○人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりを創出し、農山村の活性化に取り組んだ。		
		66人	実績値	253人	455人	753人	1,092人	1,292人													
		-	達成率	127%	138%	160%	182%	177%													
2-2 森林の整備・林業の振興と農山村の活性化の一体的な推進	221 「やまの健康」を具体化する企業等が関わる取組数(累計)	R4年度	目標値	-	-	13企業等	15企業等	17企業等	20企業等	23企業等	26企業等	28企業等	30企業等	都市部（企業）の多様なニーズに応えられるよう、「琵琶湖森林づくりパートナー協定」をはじめとする「都市とやまをつなぐ」メニューの整備や体制づくりに取り組むとともに、人や経済の循環を創出する「やまの健康」に向けた具体的な地域との関わりへの支援を行った。 ※進捗率 (29-11)/(30-11)=95%	A	30企業等 (累計目標)	95%		【今後の方向性】 ○2022年に開催した全国植樹祭の機運を引き継ぎ、引き続き県民等の森林づくりへの理解や参加を促進していく。		
		11企業等	実績値	-	-	17企業等	27企業等	29企業等													
		-	達成率	-	-	131%	180%	171%													
3 森林資源の循環利用による林業の成長産業化																					
3-1 活力ある林業生産の推進	311 県産材の素材生産量	-	目標値	131,000m³	142,000m³	144,000m³	147,000m³	150,000m³	153,000m³	156,000m³	159,000m³	162,000m³	165,000m³	森林組合系統および素材生産業者における素材生産量は、年々増加傾向にあるものの目標値には届かなかった。施策集約化や間伐および主伐・再造林等、森林整備の目標が未達成であったことと連動した結果と考えられる。 今後も引き続き、幅広い利用や需要に応じていけるよう、目標達成に向けて取り組む必要がある。	B	165,000m³	64%				
		100,800m³	実績値	99,400m³	98,800m³	100,900m³	101,700m³	105,700m³													
		-	達成率	76%	70%	70%	69%	70%													
3-1 活力ある林業生産の推進	312 林業就業者の平均給与	R3年度	目標値	-	-	3,513千円	3,626千円	3,789千円	3,952千円	4,115千円	4,278千円	4,441千円	4,600千円	林業労働力の確保の促進に関する法律に基づき雇用管理の改善等に取り組む林業事業体を県で認定しており、その林業事業体（12社）の平均給与を指標としている。調査年度により変動があり、全産業平均の4,600千円以上は2社あるが、平均給与は全産業平均と比較すると低位である事から、今後は雇用環境の改善に向けた取組を検討する必要がある。	A	(R8変更) 4,300千円→ 4,600千円	82%				
		3,400千円	実績値	-	-	4,152千円	3,897千円	3,794千円													
		-	達成率	-	-	118%	107%	100%													
3-2 県産材の加工・流通体制の整備	321 びわ湖材製品出荷量(原木換算)	-	目標値	62,800m³	68,600m³	74,400m³	80,200m³	86,000m³	91,800m³	97,600m³	103,400m³	109,200m³	115,000m³	びわ湖材証明を行った素材生産量は近年増加してきているが、産地証明を必要とする需要が伸びず、令和7年度は若干目標値に届かなかった。今後も、施策の集約化、路網整備、機械化、間伐および主伐・再造林の推進等により、生産量の増加を図っていくとともに、びわ湖材の販路拡大に取り組む。	A	115,000m³	69%		○施策集約化や間伐等の森林整備が目標に届かず、素材生産量およびびわ湖材証明の数量は目標を達成できなかった。		
		64,750m³	実績値	61,820m³	65,700m³	66,800m³	84,400m³	78,860m³													
		-	達成率	98%	96%	90%	105%	92%													
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	331 しが木育に親しむ人の数(累計)	R3年度	目標値	-	-	9,000人	12,000人	30,000人	63,000人	96,000人	130,000人	165,000人	200,000人	木育施設「しがモック」がオープンしたこともあり、劇的に増加し目標値を大きく上回った。今後も、木育イベントや木育講座等の開催により、しが木育に親しむ人を増やすとともに、より深い関わりが持てるように方策を検討していく。 ※進捗率 (45,268-2,226)/(200,000-2,226)=22%	A	(R8変更) 30,000人→ 200,000人 (累計目標)	22%				
		2,226人	実績値	-	-	8,715人	10,442人	45,268人													
		-	達成率	-	-	97%	87%	151%													
3-3 あらゆる用途への県産材の活用	332 県の整備する公共施設のびわ湖材による内装等木質化率	R3年度	目標値	-	-	80%	85%	85%	90%	90%	95%	95%	100%	設計時から営繕部局等と木質化について調整を行っており、今年度は予定通りびわ湖材による内装等木質化が実施された。引き続き木質化への意識醸成を図っていきたい。	A	100%	93%				
		80%	実績値	-	-	93%	93%	93%													
		-	達成率	-	-	116%	109%	109%													
3-4 ICTを活用した林業・木材産業の競争力強化	341 林業産出額	-	目標値	11.1億円	11.4億円	11.7億円	12.0億円	12.3億円	12.6億円	12.9億円	13.2億円	13.5億円	13.8億円	（令和6年 農林水産統計 令和8年2月25日公表） 令和6年は、この種類の産出額は増えたものの、木材生産の産出額が針葉樹・広葉樹とも減少したため、全体として産出額が減少した。	B	13.8億円	68%				
		10.8億円	実績値	8.1億円	9.2億円	9.8億円	9.7億円	9.4億円													
		-	達成率	73%	81%	84%	81%	76%													
4 豊かな森林を未来に引き継ぐ人づくりの推進																					
4-1 林業の担い手の確保・育成	411 滋賀もりづくりアカデミーで技術習得に取り組んだ新規林業就業者数(累計)	-	目標値	12人	18人	24人	30人	36人	42人	48人	54人	60人	66人	滋賀もりづくりアカデミーの新規就業者コースの修了者数は2名であり、林業への就業希望者が近年減少傾向にある。今後は、多くの媒体を通じたアカデミーの認知度向上を図るとともに、事業体に在籍しながらアカデミーを受講できる仕組みを推進するなど、受講生の確保に努める。 ※進捗率 24/66=36%	C	66人 (累計目標)	36%				
		-	実績値	10人	14人	20人	22人	24人													
		-	達成率	83%	78%	83%	73%	67%													
4-1 林業の担い手の確保・育成	412 林業従事者数	R3年度	目標値	-	-	250人	250人	250人	250人	250人	250人	250人	250人	令和7年度は新規就業者の増により、前年度から増加した。林業従事者の年齢構成から、今後も高齢者の離職は続くことと見込まれるため、これまで以上に林業労働力確保支援センターと連携した就業相談会等の実施や滋賀もりづくりアカデミーにより新規従事者の確保を図っていく必要がある。	A	250人	97%				
		243人	実績値	-	-	223人	238人	242人													
		-	達成率	-	-	89%	95%	97%													
4-1 林業の担い手の確保・育成	413 森林経営プランナー数(累計)	R4年度	目標値	-	-	2人	3人	4人	5人	6人	7人	7人	7人	R7年度は、1名の取得があった。今後も引き続き認定資格が得られるように育成を図る。	B	7人 (累計目標)	43%		【今後の方向性】 ○引き続き、次代の森林を担う人づくりを進める。		
		1人	実績値	-	-	2人	2人	3人													
		-	達成率	-	-	100%	67%	75%													
4-2 次代の森林づくりを担う人々の理解の促進	421 自然を活用した幼児教育・保育に取り組む団体数(累計) ※幼児教育・保育に、森林など自然の中での活動を積極的に取り入れている団体	-	目標値	10団体	14団体	19団体	23団体	28団体	32団体	37団体	41団体	46団体	50団体	しが自然保育認定制度や補助制度、保育士等スキルアップのための研修会を実施するなど、保育団体等に対する普及啓発を積極的に実施した。今後は、保育部局等とより一層連携し、自然保育を推進する必要がある。 ※進捗率 (27-5)/(50-5)=49%	A	50団体 (累計目標)	49%				
		5団体	実績値	13団体	15団体	19団体	24団体	27団体													
		-	達成率	130%	107%	100%	104%	96%													

個々の取組の達成率の評価 A：90%以上 B：70～89% C：50～69% D：30～49% E：30%未満

見通しの評価 上向き:単年評価Aかつトレンドが上向き 下向き:単年評価がC以下かつトレンドが下向き 横向き:それ以外(状況を注視) ー:評価不可

琵琶湖森林づくり基本計画(第2期) 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

Ⅱ：重点プロジェクト【5年間の取組】		R元(現状)	項目	R3	R4	R5	R6	R7	進捗状況	R7年度 達成率評価	R7(目標)	達成率	達成率評 価
1 花粉の少ない再造林 促進プロジェクト	1-1 年間再造林面積(単年度)	-	目標値	20ha	27ha	35ha	43ha	50ha	主伐・再造林について、高い補助率で手厚い支援を行い、森林所有者等への働きかけを行ったが、獣害等に対する費用負担等から、森林所有者の再造林への意欲低下などにより、目標を達成することができなかった。 今後は、滋賀県森林組合連合会が中心に実施している民間寄付を財源にした基金による支援制度や、獣害防止施設の維持管理経費への補助制度の周知等を行い、費用負担に対する不安感を減らし、森林所有者の意欲向上を図ることにより、再造林面積の増加を目指す。	C	50ha	64%	C
		11.5ha	実績値	19ha	30ha	42ha	31ha	32ha					
		-	達成率	95%	111%	120%	72%	64%					
2 災害に強い森林づく りプロジェクト	2-1 ライフライン保全整備箇所数(累計) ※関係者との適切な調整のもと、予防的に伐採処理等が行われた箇所	-	目標値	5箇所	10箇所	15箇所	20箇所	25箇所	市町、森林所有者およびインフラ施設管理者と連携し、インフラ周辺の森林整備等に取り組んだ。 令和7年度については、関係者の調整に時間を要したため、事業実施ができなかったが、引き続き事業の普及啓発を行い、ライフライン保全整備の推進に努める。	A	25箇所 (累計目標)	136%	A
		-	実績値	11箇所	25箇所	30箇所	34箇所	34箇所					
		-	達成率	220%	250%	200%	170%	136%					
3 「やまの健康」推進プ ロジェクト	3-1 地域資源の活用に取り組む森林・農山村団体の数(累計)	-	目標値	7団体	9団体	11団体	13団体	15団体	令和元年度以降累計で、「やまの健康」モデル地域の関係団体やその他地域で活動する26団体に対し、地域資源を活用した商品やサービスの開発に向けた取組について支援した。 ※進捗率 (26-5)/(15-5)=210%	A	15団体 (累計目標)	210%	A
		5団体	実績値	16団体	18団体	21団体	24団体	26団体					
		-	達成率	550%	325%	267%	238%	210%					
4 公共建築物木造化プ ロジェクト	4-1 県産材を活用する建築設計に関する支援を行った公共建築物数(累計)	-	目標値	10件	15件	20件	25件	30件	県および市の整備する公共建築物に対して、木造化促進アドバイザーによるアドバイスをを行った。県産材による設計や工事発注による利用拡大、調達可能な木材による適切な価格や工期設定による施設整備の着実な実施、発注者や設計者の木材利用に関する理解醸成による公共建築物の木造化の推進が図れた。	A	30件 (累計目標)	103%	A
		-	実績値	10件	17件	21件	27件	31件					
		-	達成率	100%	113%	105%	108%	103%					
	4-2 産業用建築物における木造率 ※建築住宅着工統計における公共建築物と民間非住宅の合計	-	目標値	6.3%	6.8%	7.3%	7.8%	8.0%	公共建築物への木材利用を促進する取組を行ったものの、産業用建築物における木造率は前年度と同程度であった。	B	8%	80%	B
		5.8%	実績値	7.4%	7.9%	6.5%	6.4%	6.4%					
		-	達成率	117%	116%	88%	82%	80%					
5 木質バイオマス地域 循環プロジェクト	5-1 エネルギーとして利用される木質バイオマスの量(単年度)	-	目標値	23,200絶乾トン	24,900絶乾トン	26,600絶乾トン	28,300絶乾トン	30,000絶乾トン	昨年と同程度の実績であり目標を達成できなかった。昨年同様、発電設備の法定検査で止めていた期間が長かったことが原因。 発電：24,030絶乾トン 熱利用：125絶乾トン	B	30,000絶乾トン	81%	B
		21,497絶乾トン	実績値	31,475絶乾トン	28,155絶乾トン	28,682絶乾トン	24,235絶乾トン	24,155絶乾トン					
		-	達成率	136%	113%	108%	86%	81%					
6 木育活動促進プロ ジェクト	6-1 木育指導者の数(累計)	-	目標値	5人	7人	9人	12人	15人	以前から活動されている2名の木育指導者と協力し、木育講座を開催し、木育指導者の育成を図った。また、しがモックオープンに合わせて講座を開催し、現在木育スタッフとして活躍する人材を育成できた。今後も指導者としても活動につながるよう取り組んでいきたい。	A	15人 (累計目標)	120%	A
		-	実績値	2人	6人	9人	12人	18人					
		-	達成率	40%	86%	100%	100%	120%					
7 林業人材育成プロ ジェクト	7-1 滋賀もりづくりアカデミーにおける既就業者コースで技能向上に取り組む作業班数(累計)	-	目標値	13班	18班	28班	38班	50班	R6からは作業道作設研修に加え、架線系技術研修を実施するなど、受講対象班を拡大した形で実施してきたが、班単位での研修方式では研修時間や内容が制限された。令和8年度以降は、目標指標の単位を「班数」から「人数」に変更し、これまでより現場のニーズに幅広く対応できる形で実施していく。 ※進捗率 19/50=38%	D	50班 (累計目標)	38%	D
		-	実績値	7班	9班	11班	13班	19班					
		-	達成率	54%	50%	39%	34%	38%					

個々の取組の達成率の評価 A：90%以上 B：70－89% C：50－69% D：30－49% E：30%未満